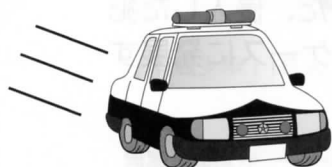


編集発行
〒514-0004
三重県津市栄町1丁目100番地
三重県警察本部内
㈱ 三重県防犯協会連合会
三重県職域防犯組合連絡協議会
三重県金融機関防犯協会連合会
事務局
TEL 059-225-4333
FAX 059-225-4329



三重県内

の

平成20年中

犯罪状況

— 罪種別犯罪発生・検挙状況 —

	発生件数(前年比)	検挙件数(前年比)
県下総数	25,355 (-609)	6,656 (-1,508)
凶悪犯	85 (+13)	75 (+16)
粗暴犯	628 (-92)	372 (-71)
窃盗犯	18,927 (+220)	4,503 (-1,435)
知能犯	1,134 (-366)	717 (+11)
風俗犯	149 (-8)	84 (-1)
その他	4,432 (-376)	905 (-28)
全国総数	1,818,023 (-90,813)	573,392 (-31,966)

(暫定数字)

- 犯罪の発生(認知)は、全国的にも県下においても平成15年以降の過去6年間、年々減少の傾向にある。(昨年の県下の発生は、全国順位19位。検挙件数は全国25位。)
- 凶悪犯は、殺人16件(前年比+4)、強盗39件(前年比+5)、放火12件(前年比+4)が増加した。
- 窃盗犯は、ひったくり、車上ねらい、自販機ねらい、自転車盗が増加した。
- 知能犯は、件数において減少したものの、振り込め詐欺の被害総額が約3億6,400万円と前年比+600万円増加した。

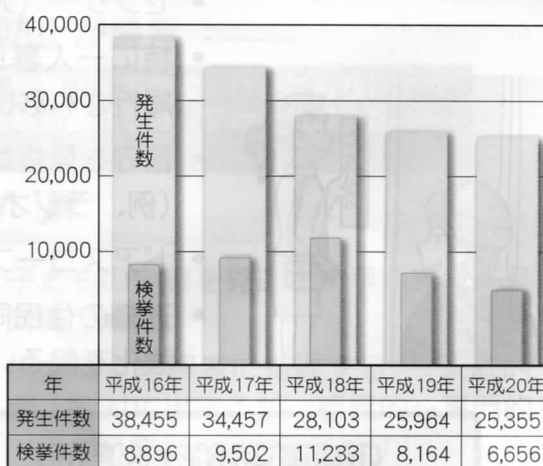
- 発生件数は、過去6年間、年々減少しているものの、昨年の減少率は、平成15年以降で最低の減少率(2.3%)となった。
- 景気の悪化が窃盗犯の増加を招き、今後、犯罪の増加(減少から増加に転じないか)が懸念される。



地域の団結、地域の目
互いの声かけ、共助の心

(三重県警察 ミーボくん)

過去5年 県下刑法犯 発生・検挙状況

回
覧

侵入犯罪 防止のために!!

—— 犯罪の75%が窃盗犯 ——



県下犯罪の約75%を占める窃盗事件のその中でも空き巣、忍込み、事務所荒しなど、住宅や事務所など屋内に侵入する窃盗事件は、2,044件も発生しています。また、侵入した犯人が家人に暴行を加える強盗事件等、危険なケースに発展する恐れもあります。

≡ 侵入犯人の手回 ≡

- 不審人物が犯行の前に現場付近の下見をする。
～インターホンを鳴らす、電話をかける、窓ガラスに石を投げるなど留守を確認して侵入～
- 留守にしている、帰宅時には既に犯人が住宅の家屋内で物色をしているケース
- 訪問者と装って侵入するケース
- 犯人が尾行してあるいは既に屋外で潜伏していて、ドアを開ける瞬間を狙うケース
～開けた瞬間、背後から口をふさぎ凶器をつきつけ侵入するケース～



≡ 対策のポイント ≡

- 窓ガラスを割れにくいものにする。
- センサー（光、音に反応）を設置する。
- 特に一人暮らしの女性の場合は、暴行目的の侵入が多いので、尾行されないように工夫し、帰宅コースも日々変えて点検する。
- 留守を見抜かれない工夫をして外出する。
(例、ラジオ、電灯をつけっぱなしで外出)
- ドアスコープ、ドアチェーンを活用する。
- 近隣の住民同志で「声かけ」等地域防犯対策を話し合い、連携強化を図る。



犯罪者が好む場所

||

侵入しやすい

ひと気の少ない

照明の少ない

隠れる場所（空家など）が多い

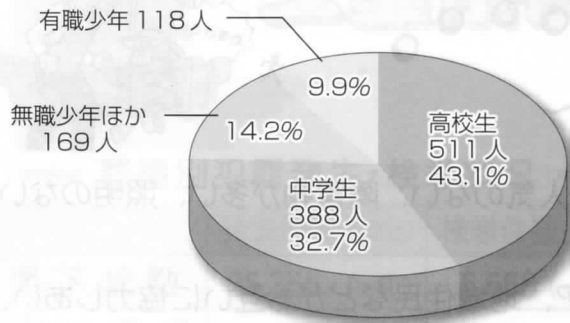
平成20年中（三重県下）少年犯罪の状況

—— 減少傾向にあるが、中・高校生による犯罪多発で深刻 ——

- 刑法犯少年は、平成 16 年以降 5 年連続して減少。
- 成人を含む刑法犯罪検挙人員に占める少年の犯罪検挙率は、全体の約 3 割。

刑法犯少年の学識別割合

（暫定数値）



刑法犯少年の罪種別件数

（暫定数値）

罪 種 別	平成 20 年中（前年比）
凶 悪 犯	8 (+2)
粗 暴 犯	80 (-35)
窃 盗 犯	729 (-112)
知 能 犯	4 (-5)
そ の 他	365 (-8)
計	1,186 (-158)

補導された不良行為少年の状況

※不良行為少年とは、刑法犯・特別法犯などの犯罪少年に該当しないが、飲酒、喫煙、深夜はいかい、その他の自己又は他人の特性を害する行為をする少年。



不良行為少年人数（平成 20 年中）

28,271 人（前年比 - 850）

（暫定数値）

高校生が 13,501 人で全体の約 5 割。警察の認知した件数で、実体はもっと深刻。

認知された児童虐待の状況

※子育ての母親が泣き止まない幼児に突発的に暴力など



児童虐待認知件数（平成 20 年中）

88 件（前年比 + 5）

（暫定数値）

少年非行防止の対策

—— 前兆を把握し、未然防止が最善 ——

非行の前兆

- ・無断外泊、深夜徘徊
- ・飲酒、喫煙
- ・不登校、ひきこもり、怠学
- ・金銭乱費、金品持ち出し
- ・粗暴言動（悩み、犯行のほめかし）
- ・刃物収集、携帯

未然に防止する

非行に走る前に少年自身の「自分の苦しい気持ちを判ってもらいたい」「犯行を止めてもらいたい」などサインを見逃さない。アンテナを巡らせ事前に非行への危険 SOS を察知する。

やむなく発生した場合

拡大防止、最小限に止める最善策を選ぶ。



対 策

- 子どもの変調を見逃さず早期発見、早期対応が大切。
- 協力者、理解者に相談する。（家庭的～個人で対応出来るか、組織的～専門的な対応が必要か、協力者を捜す）
- 会話、相談に応じやすい環境を作る。
- 少年サポートセンター、児童相談所など専門家に相談する。



自主防犯活動への参加を！



～ 地域社会の連帯が安全・安心まちづくりに大きな役割を果たします ～

今、安全で安心して暮らせる地域社会の実現が強く求められています。これを実現するためには、地域住民が「自分たちの安全は自分たちで守る」という観点から自主防犯活動へ参加し、防犯の輪を広げることがとても大切です。この自主防犯活動を成功させるポイントは、「無理をせず、できることから」です。

子どもを守ろう！！・・・

～通学路（帰宅路）の安全確保～



- ・ 要注意箇所・危険な場所（人気のない、障害物が多い、照明のない場所）を把握し、改善する。
- ・ PTAや自治会、ボランティア、地域住民などがお互いに協力しあい、防犯パトロールを実施して子どもを守る。
- ・ 日頃から子どもに身の回りの危険について話をし、対策を身に付けさせましょう。

身近な犯罪を防ごう！

犯人との面識の少ない
振込め詐欺



**犯行
手口**

オレオレ詐欺、架空請求詐欺 平成 20 年 県下 323 件被害
還付金名目詐欺、融資保証金等詐欺 被害額 3 億 6,400 万円

対策

- ・ 警察官・弁護士・税務官・社保庁職員等を装い、交通事故・事件のトラブル解決、示談金名目や税金・年金の還付を口実に現金を指定口座に振り込ませる詐欺。
- ・ 相手の話をうのみにしない。携帯電話でだまされない。
- ・ 不審な電話、郵便、メール、ファックスにも慌てず、真否を見極め冷静に対応する。
- ・ すぐに送金せず、必ず知人、家族、警察官、口座元金融機関職員等に相談する。



要注意！！

ひったくり



- ・ 後ろから近付いてくるオートバイや自転車に注意。
- ・ 車道側の肩や手にカバンを持っていると狙われる。
- ・ 19～23 時に最も発生している。
- ・ 被害者のほとんどが女性。



車上ねらいに注意

愛車を盗難から守るために

- ・ 車から離れる時は、キーを抜き、必ずロックしましょう。
- ・ 路上駐車はやめ、明るい監視の行き届いた駐車場を選びましょう。
- ・ 貴重品・金銭・カバンは車室内に置かないようにしましょう。